

第II章 性格特性・リスク意識・金融保険リテラシー

ここでは、自分自身の普段の行動、性格や考え方について、および金融・保険に関する知識について、捉えている。

1. 自身の性格特性

自身の性格特性を捉えるため、以下のように尋ねた。

まず、あなたご自身の性格や考え方についてお尋ねします。次の(1)から(10)までの言葉は、あなたご自身にどのくらい当てはまりますか。文章全体を見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。「強くそう思う」を「7」、「全く違うと思う」を「1」として、1つ選んでください。

私は自分自身のことを…

- (1) 活発で、外交的だと思う
- (2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う
- (3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う
- (4) 心配性で、うろたえやすいと思う
- (5) 新しいことが好きで、変った考えをもつと思う
- (6) ひかえめで、おとなしいと思う
- (7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う
- (8) だらしなく、うっかりしていると思う
- (9) 冷静で、気分が安定していると思う
- (10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う

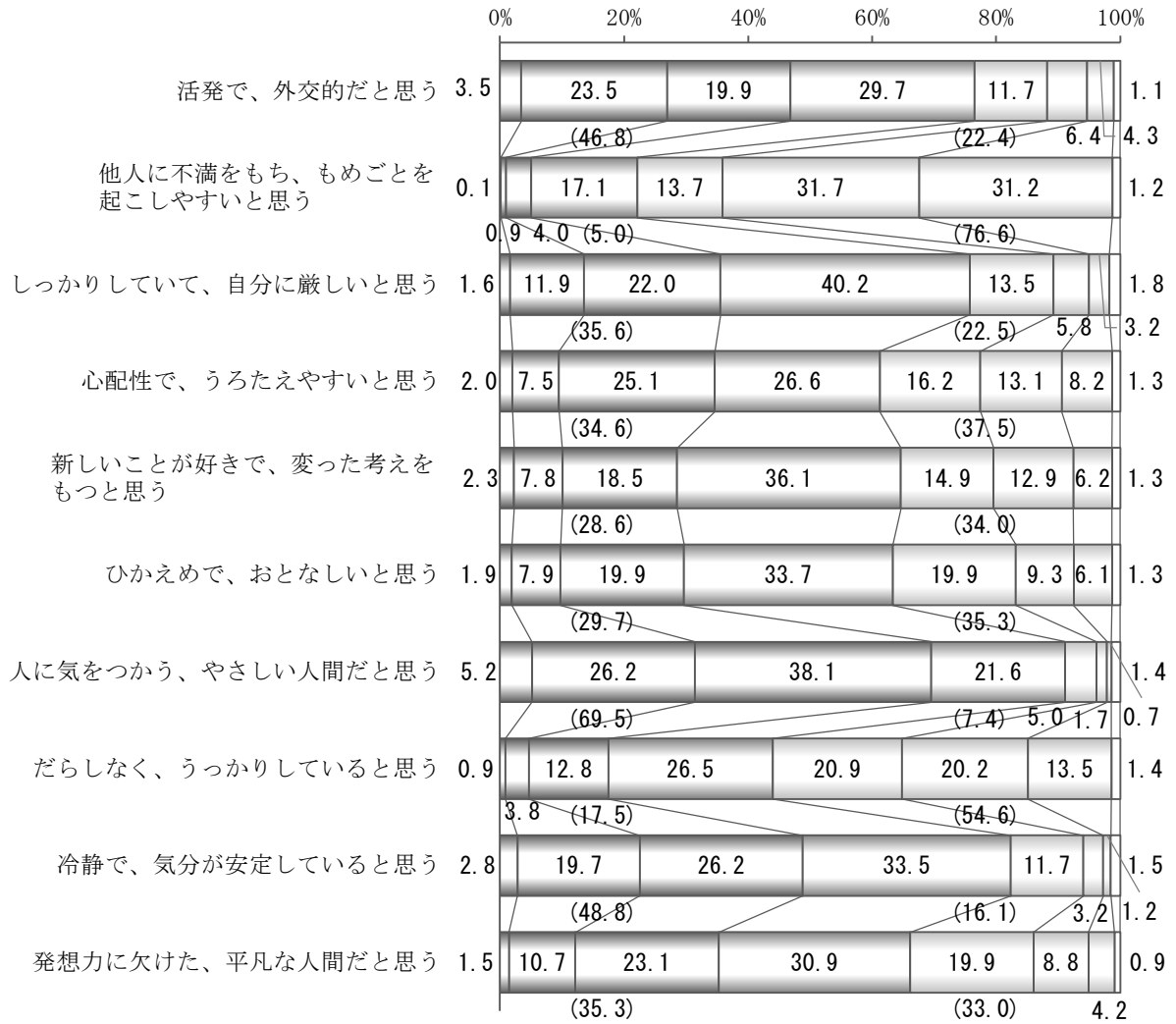
- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----------|
| 1 全く違うと思う | 2 おおよそ違うと思う | 3 少し違うと思う | 4 どちらでもない |
| 5 少しそう思う | 6 まあまあそう思う | 7 強くそう思う | |

その結果、「そう思う」(“強くそう思う”“まあまあそう思う”“少しそう思う”の回答の合計)が最も多いのは、「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」が69.5%、次いで、「冷静で、気分が安定していると思う」が48.8%、「活発で、外交的だと思う」が46.8%の順となっている。

逆に、「違うと思う」(“少し違うと思う”“おおよそ違うと思う”“全く違うと思う”の回答の合計)が最も多いのは、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」が76.6%となっている。(図表Ⅱ-1)

<図表 II-1> 自身の性格特性

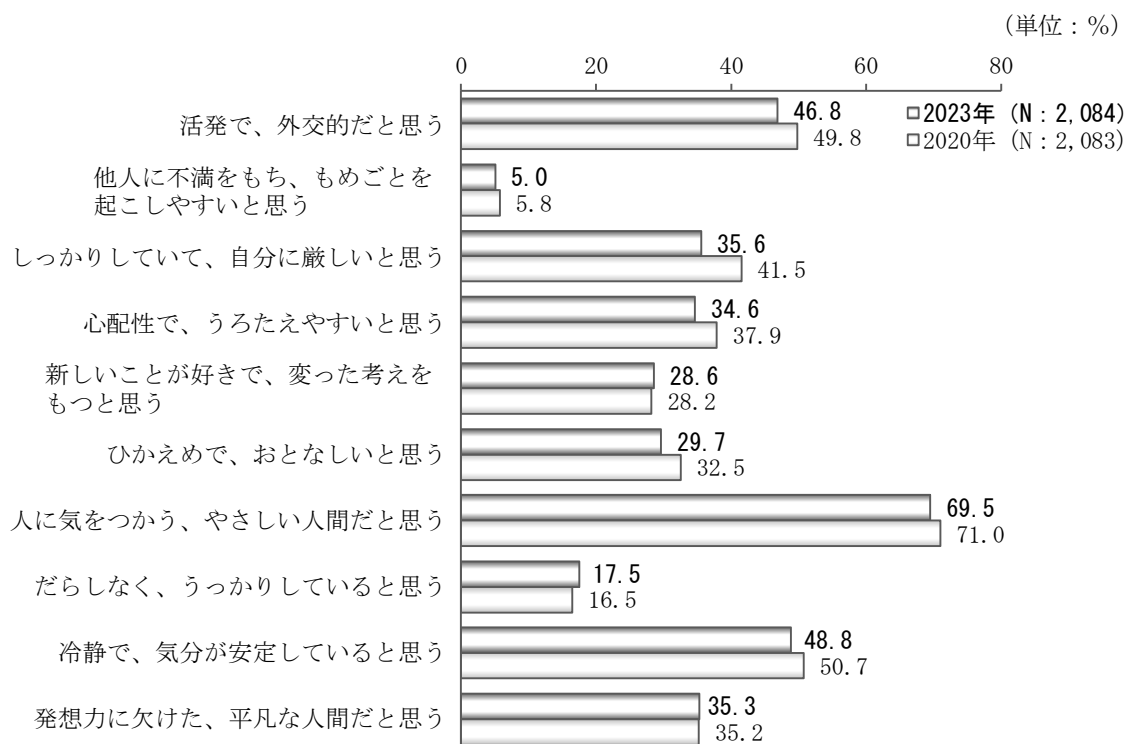
(N : 2,084)



強く思う まあ思う 少し思う どちらでもない 少し違うと思う おおよそ違うと思う 全く違うと思う 無回答
そう思う そう思う そう思う 違うと思う

自身の性格特性について「そう思う」の回答を前回と比較すると、「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」は5.9ポイント、「心配性でうろたえやすいと思う」は3.3ポイント、いずれも減少している。(図表Ⅱ-2)

<図表Ⅱ-2> 自身の性格特性【「そう思う」の回答率】



自身の性格特性について「そう思う」の回答を性別にみると、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」「新しいことが好きで、変った考えをもつと思う」「ひかえめで、おとなしいと思う」は、男性が女性を上回っている。一方、「活発で、外交的だと思う」「心配性で、うろたえやすいと思う」「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」「発想力に欠けた、平凡な人間だと思う」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、積極的な評価の「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」「冷静で、気分が安定していると思う」は、90歳以上で高くなっている。逆に、消極的な評価の「ひかえめで、おとなしいと思う」は80～84歳、「だらしなく、うっかりしていると思う」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅱ-3)

<図表 Ⅱ-3> 自身の性格特性【「そう思う」の回答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

	N	活発で、外交的だと思う	他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	しっかりしていて、自分に厳しいと思う	心配性で、うろたえやすいと思う	新しいことが好きで、変った考えをもつと思う	ひかえめで、おとなしいと思う	人に気をつかう、やさしい人間だと思う	だらしなく、うっかりしていると思う	冷静で、気分が安定していると思う	発想力に欠けた、平凡な人間だと思う
全体	2,084	46.8	5.0	35.6	34.6	28.6	29.7	69.5	17.5	48.8	35.3
性別											
男性	996	43.9▲	7.2	34.8	29.1▲	31.4	33.1	67.1▲	18.5	48.7	31.0▲
女性	1,088	49.5	3.0▲	36.2	39.7	25.9▲	26.5▲	71.8	16.5	48.9	39.2
本人年齢別											
60～64歳	380	49.5	6.8	32.6	37.6	32.6	23.4▲	68.4	24.7	45.0	32.4
65～69歳	400	47.8	5.0	33.0	33.3	29.0	27.5	69.5	17.5	49.3	34.3
70～74歳	463	46.9	3.0▲	33.9	29.6▲	27.9	29.4	69.8	12.3▲	49.0	33.7
75～79歳	369	50.7	5.4	38.8	36.6	25.7	29.5	71.5	18.4	50.1	37.7
80～84歳	273	43.2	5.1	38.1	36.3	27.1	38.5	66.7	17.2	49.8	37.7
85～89歳	141	39.7	6.4	35.5	39.0	26.2	33.3	68.8	14.2	45.4	36.2
90歳以上	58	32.8▲	3.4	53.4	34.5	34.5	37.9	77.6	13.8	63.8	44.8

2. リスク意識

(1) 時間割引率

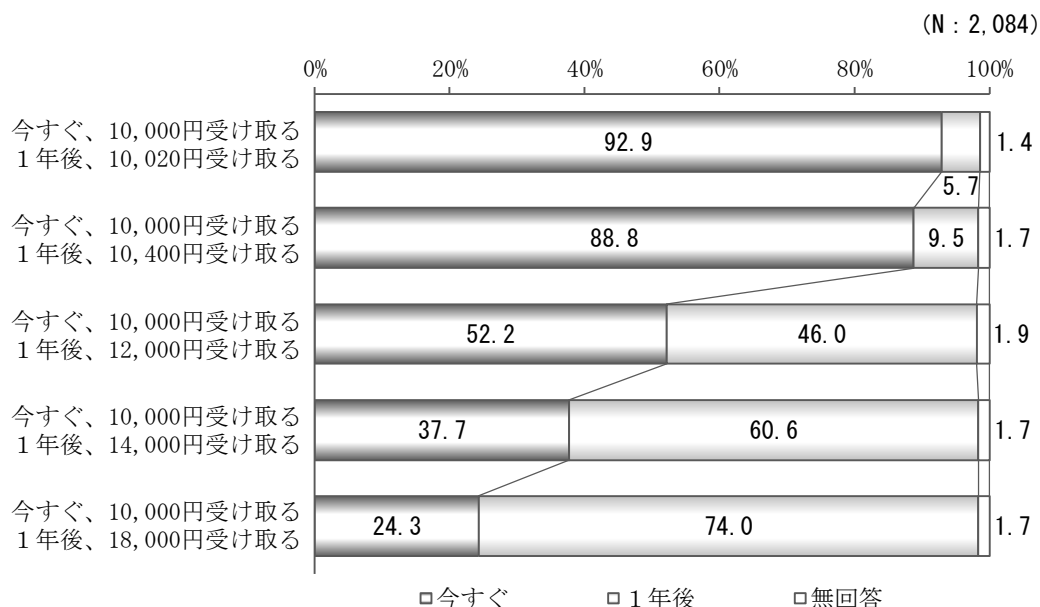
以下では、時間割引率（せっかちさ）を捉えるために、今すぐなら1万円受け取ることができ、1年間待てば1万円以上受け取れる状況を想起させ、1年後に受け取れる金額の差異からいずれを好むかを尋ねた。

あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1万円受け取ることができます。1年後でお金をもらうなら、1万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

- (1) 今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,020円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、10,020円受け取る
- (2) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,400円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、10,400円受け取る
- (3) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、12,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、12,000円受け取る
- (4) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、14,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、14,000円受け取る
- (5) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、18,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、18,000円受け取る

その結果、「今すぐ、10,000円受け取る」の回答をみると、1年後に受け取る額が「10,020円」の場合は92.9%、「10,400円」の場合は88.8%、「12,000円」の場合は52.2%と、割合が減少していくものの過半数を占めている。さらに「14,000円」の場合は37.7%、「18,000円」の場合は24.3%と割合が減少し、これらのケースでは「1年後」と回答した人が「今すぐ」と回答した人の割合を上回っている。（図表Ⅱ-4）

<図表Ⅱ-4> 時間割引率【5ケース】

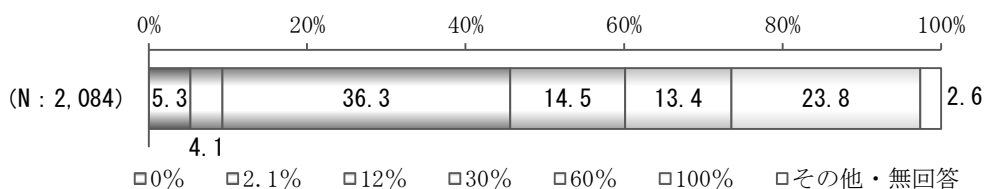


「今日よりも将来お金を受け取る方がよい」という選択に切り替わった前後で要求する金利(=切り替わる前後の金利の平均値)から「時間割引率」を以下のように分類した。

【時間割引率】	
1	0% …………… (1)～(5)の回答がすべて2
2	2.1% (= (0.2%+4%) /2) …… (1)の回答が1、(2)～(5)の回答がすべて2
3	12% (= (4%+20%) /2) …… (1)～(2)の回答がすべて1、(3)～(5)の回答がすべて2
4	30% (= (20%+40%) /2) …… (1)～(3)の回答がすべて1、(4)～(5)の回答がすべて2
5	60% (= (40%+80%) /2) …… (1)～(4)の回答がすべて1、(5)の回答が2
6	100% …………… (1)～(5)の回答がすべて1
7	その他・無回答 …………… 上記に当てはまらない回答

時間割引率については、「12%」が36.3%と最も多く、次いで「100%」が23.8%となっている。以下、「30%」が14.5%、「60%」が13.4%となっている。(図表Ⅱ-5)

<図表Ⅱ-5> 時間割引率



性別にみると、男性の方が女性に比べ時間割引率が高い(せっかちな)傾向がみられ、「60%」は女性より男性の方が3.7ポイント高くなっている。一方、「2.1%」「12%」は男性より女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、高い年齢層ほど時間割引率が高い(せっかちな)傾向がみられ、「100%」は85歳以上の層で高くなっており、逆に、60～69歳の層で低くなっている。(図表Ⅱ-6)

<図表Ⅱ-6> 時間割引率〔性別・年齢別〕

(単位: %)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
性 別	男 性	996	5.1	2.5▲	33.5▲	16.0	15.4	24.8	2.7
	女 性	1,088	5.4	5.5	38.8	13.1	11.7▲	22.9	2.6
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	5.5	3.4	49.5	13.2	12.1	15.3▲	1.1▲
	65～69歳	400	4.8	4.8	38.0	15.0	17.3	18.8▲	1.5
	70～74歳	463	5.4	2.8	35.6	14.9	14.0	25.3	1.9
	75～79歳	369	3.8	3.0	30.9▲	18.4	13.0	28.2	2.7
	80～84歳	273	8.1	6.2	30.8▲	11.7	12.5	25.6	5.1
	85～89歳	141	4.3	6.4	27.0▲	11.3	10.6	33.3	7.1
	90歳以上	58	5.2	5.2	25.9	12.1	5.2	43.1	3.4

本人年収別にみると、特に差はみられない。(図表Ⅱ-7)

<図表Ⅱ-7> 時間割引率〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	5.0	5.4	31.8	14.9	12.3	27.2	3.4
	100 万 円 未 満	458	5.5	4.6	36.5	13.1	12.9	24.7	2.8
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	5.1	3.6	36.4	16.1	14.3	22.7	1.9▲
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	6.5	3.9	41.9	11.0	13.5	21.9	1.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	14.3	3.6	50.0	7.1	-	17.9	7.1
	2,000 万 円 以 上	9	-	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「12%」は1,000万円以上層で高く、100万円未満層で低くなっている。一方、「60%」は500万円未満層で高くなっている。また、「100%」は100万円未満層で高く、1,000万円以上層で低くなっている。

総じて、低資産層ほど時間割引率(せっかちさ)が高い傾向がみられる。(図表Ⅱ-8)

<図表Ⅱ-8> 時間割引率〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	204	2.5	3.4	25.0▲	17.2	19.1	29.4	3.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	5.3	3.4	35.8	16.2	17.7	20.8	0.8▲
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	5.4	3.9	35.1	13.7	14.1	26.8	1.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	6.4	3.9	46.1	12.5	15.4	13.9▲	1.8
	2,000 万 円 以 上	399	4.8	5.5	46.6	14.5	11.8	16.0▲	0.8▲

(2) リスク回避性

「リスク回避性」を捉えるため、賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジのどちらを引きたいと思うか尋ねた。

賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジA、Bがあるとします。あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

(1) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 99%の確率で3万円当選し、1%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(2) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 90%の確率で3万円当選し、10%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(3) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 80%の確率で3万円当選し、20%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(4) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 60%の確率で3万円当選し、40%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

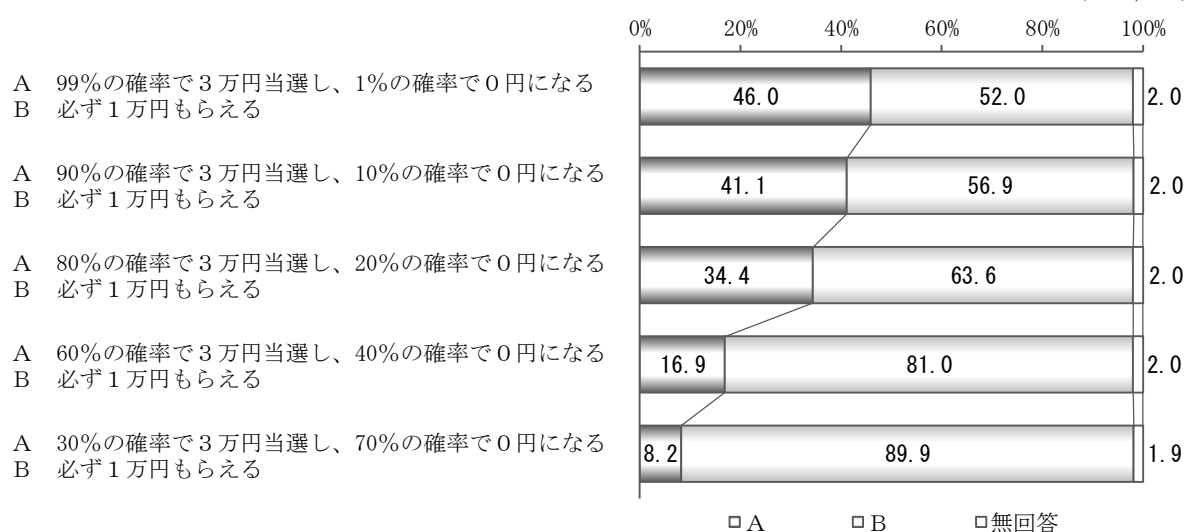
(5) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 30%の確率で3万円当選し、70%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

その結果、「A 99%の確率で3万円当選し、1%の確率で0円になる」場合は、「B 必ず1万円もらえる」と回答した人の割合が52.0%となっており、3万円当選の確率が低くなるほど「B 必ず1万円もらえる」の割合が増加している。「A 30%の確率で3万円当選し、70%の確率で0円になる」の場合は、「B 必ず1万円もらえる」が89.9%に達している。(図表Ⅱ-9)

<図表Ⅱ-9> リスク回避性【5 ケース】

(N : 2,084)

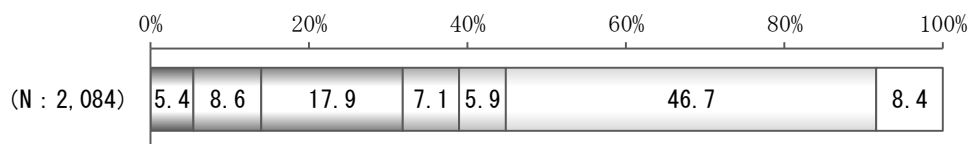


賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジのどちらを引きたいと思うかの回答から「リスク回避性」を以下のように分類した。

【リスク回避性】		
1	30%リスク回避	(1)～(5)の回答がすべてA
2	60%リスク回避	(1)～(4)の回答がすべてA、(5)の回答がB
3	80%リスク回避	(1)～(3)の回答がすべてA、(4)～(5)の回答がすべてB
4	90%リスク回避	(1)～(2)の回答がすべてA、(3)～(5)の回答がすべてB
5	99%リスク回避	(1)の回答がA、(2)～(5)の回答がすべてB
6	100%リスク回避	(1)～(5)の回答がすべてB
7	その他・無回答	上記に当てはまらない回答

その結果、「100%リスク回避」が46.7%と最も多く、次いで「80%リスク回避」が17.9%となっている。(図表Ⅱ-10)

<図表Ⅱ-10> リスク回避性



□30%リスク回避 □60%リスク回避 □80%リスク回避 □90%リスク回避
 □99%リスク回避 □100%リスク回避 □その他・無回答

性別にみると、「30%リスク回避」「60%リスク回避」「80%リスク回避」は女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「99%リスク回避」「100%リスク回避」は女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「60%リスク回避」「80%リスク回避」は60～64歳で高く、「100%リスク回避」は90歳以上で高くなっている。(図表Ⅱ-11)

<図表Ⅱ-11> リスク回避性〔性別・年齢別〕

		(単位：%)							
		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
性別	男性	996	8.1	13.4	19.6	6.8	4.6▲	39.2▲	8.3
	女性	1,088	2.9▲	4.2▲	16.3▲	7.4	7.1	53.6	8.5
本人 年齢別	60～64歳	380	5.8	14.2	26.3	7.9	6.6	33.9▲	5.3▲
	65～69歳	400	5.0	8.3	21.0	7.8	7.0	43.3	7.8
	70～74歳	463	4.8	9.9	17.3	7.1	5.0	49.2	6.7
	75～79歳	369	6.2	6.5	14.6	7.6	5.7	50.4	8.9
	80～84歳	273	4.4	6.2	12.5▲	6.2	7.0	51.6	12.1
	85～89歳	141	8.5	2.8▲	10.6▲	5.0	2.1▲	53.9	17.0
	90歳以上	58	3.4	1.7	8.6	3.4	6.9	69.0	6.9

本人年収別にみると、「30%リスク回避」「60%リスク回避」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「100%リスク回避」は、収入はない、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-12)

<図表Ⅱ-12> リスク回避性〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
本人 年 収 別	収入はない	261	2.7▲	5.4▲	14.2	6.9	3.1▲	58.6	9.2
	100万円未満	458	3.3▲	5.2▲	18.1	7.0	7.2	51.3	7.9
	100～500万円未満	1,067	5.8	9.7	18.7	8.1	6.4	43.2▲	8.2
	500～1,000万円未満	155	12.3	16.8	18.7	5.8	3.9	36.1▲	6.5
	1,000～2,000万円未満	28	3.6	14.3	25.0	-	3.6	46.4	7.1
	2,000万円以上	9	11.1	33.3	-	-	11.1	33.3	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「60%リスク回避」「80%リスク回避」は、100万円以上層では高資産層ほど高くなっている。一方、「100%リスク回避」は、100万円以上層では高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-13)

<図表Ⅱ-13> リスク回避性〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
金融 世 帯 保 有 資 産 別	100万円未満	204	3.4	9.8	18.1	6.4	4.9	48.0	9.3
	100～500万円未満	265	4.9	6.8	16.2	7.5	7.5	49.1	7.9
	500～1,000万円未満	205	5.4	8.3	17.1	9.3	3.9	48.8	7.3
	1,000～2,000万円未満	280	7.1	12.1	21.1	6.4	5.4	40.7▲	7.1
	2,000万円以上	399	6.3	14.0	24.3	8.8	8.0	33.6▲	5.0▲

3. 金融・保険リテラシー

(1) 金融・保険に関する知識への自信

金融・保険に関する知識についての自信を捉えるために、以下のように尋ねた。

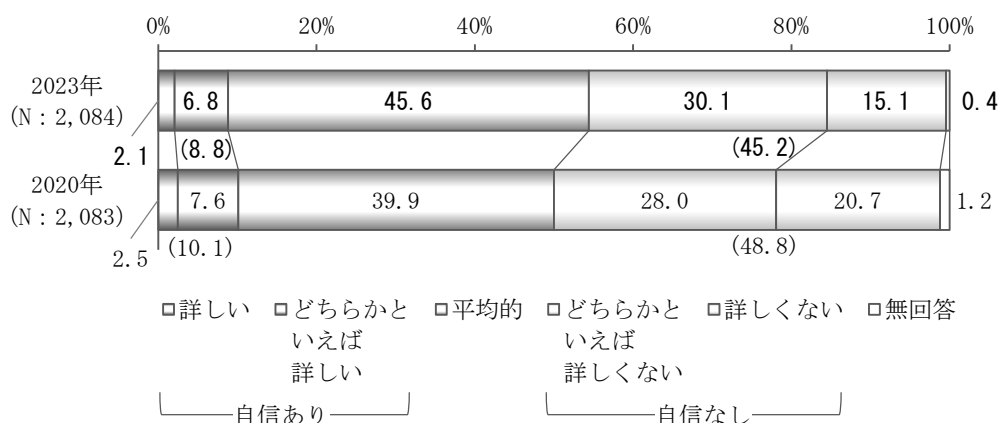
あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

- 1 詳しい
- 2 どちらかといえば詳しい
- 3 平均的
- 4 どちらかといえば詳しくない
- 5 詳しくない

その結果、「自信あり」（“詳しい”と“どちらかといえば詳しい”の回答の合計）は8.8%で、「自信なし」（“どちらかといえば詳しくない”と“詳しくない”の回答の合計）の45.2%を大きく下回っている。「平均的」は45.6%となっている。

前回と比較すると、「平均的」が5.7ポイント増加し、「自信なし」が3.6ポイント減少している。（図表Ⅱ-14）

<図表Ⅱ-14> 金融・保険に関する知識への自信



性別にみると、「自信あり」は女性よりも男性の方が高く、「自信なし」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、「自信あり」は特に差はみられない。「自信なし」は80～89歳の層で高くなっている。(図表Ⅱ-15)

<図表Ⅱ-15> 金融・保険に関する知識への自信〔性別・年齢別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい い え ち い ば ら か と	自信あり	平均的	自信なし	詳しい い え ち い ば ら か と	詳しい い え ち い ば ら か と	無回答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
性別	男 性	996	2.6	8.8	11.4	46.2	41.9▲	28.1	13.8	0.5
	女 性	1,088	1.6	4.9▲	6.4▲	45.0	48.2	31.9	16.3	0.4
本人年齢別	60～64歳	380	3.2	7.1	10.3	44.5	44.5	32.1	12.4	0.8
	65～69歳	400	1.5	7.3	8.8	47.5	43.5	30.0	13.5	0.3
	70～74歳	463	1.7	8.4	10.2	52.1	37.8▲	25.5▲	12.3	-
	75～79歳	369	2.4	5.7	8.1	47.2	44.2	29.8	14.4	0.5
	80～84歳	273	0.7	5.9	6.6	39.2▲	53.5	33.7	19.8	0.7
	85～89歳	141	3.5	5.0	8.5	32.6▲	58.2	37.6	20.6	0.7
	90歳以上	58	1.7	3.4	5.2	39.7	55.2	20.7	34.5	-

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど「自信あり」は高くなっている傾向がみられ、逆に「自信なし」が低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-16)

<図表Ⅱ-16> 金融・保険に関する知識への自信〔本人学歴別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい い え ち い ば ら か と	自信あり	平均的	自信なし	詳しい い え ち い ば ら か と	詳しい い え ち い ば ら か と	無回答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
本人学歴別	小 中 学 校	322	0.9	2.2▲	3.1▲	28.9▲	68.0	39.8	28.3	-
	高 等 学 校	904	1.8	5.5▲	7.3▲	48.0	44.1	30.6	13.5	0.6
	短期大学、高等専門 学校、専門学校	369	1.1	5.7	6.8	48.8	44.2	30.9	13.3	0.3
	大 学	446	3.6	13.0	16.6	49.6	33.4▲	22.6▲	10.8▲	0.4
	大学院修士課程	24	12.5	16.7	29.2	58.3	12.5▲	12.5	-	-
	大学院博士課程	2	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-

本人年収別にみると、「自信あり」は高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。「自信なし」は収入はない層で56.7%と最も高く、高年収層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-17)

<図表Ⅱ-17> 金融・保険に関する知識への自信〔本人年収別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい しえち いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい しえち くばら ない かと	詳 し く な い	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
本人 年 収 別	収入はない	261	0.8	4.2	5.0▲	37.5▲	56.7	35.6	21.1	0.8
	100万円未満	458	1.1	3.7▲	4.8▲	43.7	51.3	33.2	18.1	0.2
	100～500万円未満	1,067	2.2	7.3	9.5	48.5	41.6▲	28.5	13.1▲	0.5
	500～1,000万円未満	155	5.8	14.8	20.6	50.3	29.0▲	21.9▲	7.1▲	-
	1,000～2,000万円未満	28	7.1	17.9	25.0	57.1	17.9▲	17.9	-	-
	2,000万円以上	9	11.1	33.3	44.4	11.1▲	44.4	33.3	11.1	-

世帯保有金融資産別にみると、「自信あり」は高資産層ほど高くなっている傾向がみられ、逆に、「自信なし」は100万円未満層で63.7%と最も高く、高資産層になるほど低くなっている。(図表Ⅱ-18)

<図表Ⅱ-18> 金融・保険に関する知識への自信〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい しえち いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい しえち くばら ない かと	詳 し く な い	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
金融 資 産 別	100万円未満	204	1.0	3.9	4.9▲	31.4▲	63.7	40.2	23.5	-
	100～500万円未満	265	0.4▲	3.8▲	4.2▲	46.0	49.8	35.1	14.7	-
	500～1,000万円未満	205	2.0	6.3	8.3	45.4	45.9	29.3	16.6	0.5
	1,000～2,000万円未満	280	2.5	7.5	10.0	55.7	34.3▲	22.9▲	11.4	-
	2,000万円以上	399	5.8	14.3	20.1	52.6	27.1▲	20.1▲	7.0▲	0.3

(2) 利息計算

利息計算が正確にできるかを捉えるため、以下のように尋ねた。

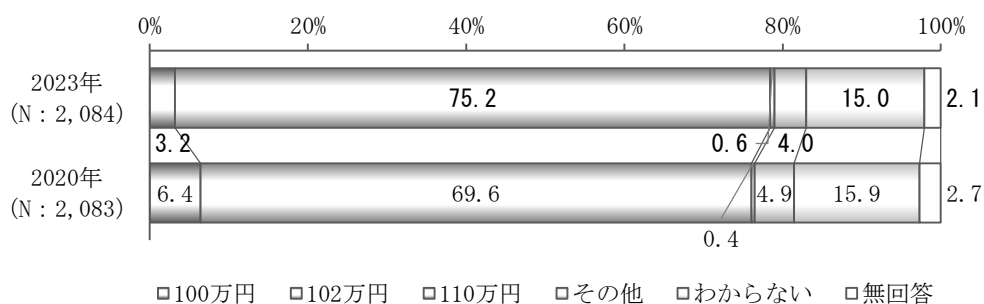
あなたは、100万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとします。1年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

- 1 100万円
- 2 102万円
- 3 110万円
- 4 その他
- 5 わからない

その結果、正答の「102万円」が75.2%と最も多く、抜きんでている。次いで、「100万円」が3.2%、「110万円」が0.6%と続いている。「その他」は4.0%、「わからない」は15.0%と1割台半ばになっている。

前回と比較すると、正答の「102万円」が5.6ポイント増加し、「100万円」が3.2ポイント減少している。(図表Ⅱ-19)

<図表Ⅱ-19> 利息計算1



性別にみると、正答の「102万円」は女性の71.9%に比べ、男性が78.8%と上回っている。一方、「わからない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、正答の「102万円」は60～69歳の層で8割を超えており、高い年齢層ほど低くなっている。逆に「わからない」は高い年齢層ほど高くなっている。(図表Ⅱ-20)

<図表Ⅱ-20> 利息計算1〔性別・年齢別〕

(単位: %)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
性別	男性	996	2.5	78.8	0.7	4.6	11.6▲	1.7
	女性	1,088	3.9	71.9▲	0.5	3.4	18.0	2.4
本人年齢別	60～64歳	380	3.9	83.4	0.8	5.0	5.5▲	1.3
	65～69歳	400	2.5	81.0	0.3	6.0	9.0▲	1.3
	70～74歳	463	4.5	76.9	1.1	3.0	11.7▲	2.8
	75～79歳	369	3.3	74.5	0.3	3.8	15.7	2.4
	80～84歳	273	2.2	66.7▲	-	2.6	25.6	2.9
	85～89歳	141	2.1	58.2▲	1.4	2.1	34.8	1.4
	90歳以上	58	-	53.4▲	-	3.4	41.4	1.7

本人学歴別にみると、正答の「102万円」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっている傾向がみられ、大学で88.8%に達している。逆に「わからない」は学校教育を受ける期間が長いほど低くなっている。(図表Ⅱ-21)

<図表Ⅱ-21> 利息計算1〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
本人学歴別	小 中 学 校	322	4.7	52.2▲	0.3	3.4	37.6	1.9
	高 等 学 校	904	3.8	74.9	0.7	3.4	14.6	2.7
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	3.8	78.9	1.1	4.6	10.3▲	1.4
	大 学	446	0.9▲	88.8	0.2	4.5	4.5▲	1.1
	大 学 院 修 士 課 程	24	-	83.3	-	12.5	-	4.2
	大 学 院 博 士 課 程	2	-	100.0	-	-	-	-

本人年収別にみると、正答の「102万円」は、100～1,000万円未満層で高くなっている。一方、「わからない」は、収入はない、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-22)

<図表Ⅱ-22> 利息計算1〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
本人年収別	収 入 は な い	261	4.6	62.8▲	-	3.4	24.5	4.6
	100 万 円 未 満	458	3.7	71.6▲	0.2	2.8	20.5	1.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	3.0	79.5	0.8	3.5	11.4▲	1.8
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	0.6	83.2	0.6	9.0	5.2▲	1.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	-	78.6	-	10.7	7.1	3.6
	2,000 万 円 以 上	9	-	100.0	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、正答の「102万円」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。一方、「わからない」は、100万円未満層で24.0%と最も高く、高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-23)

<図表Ⅱ-23> 利息計算1〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
世帯保有金融資産別	100 万 円 未 満	204	2.9	71.1	0.5	0.5▲	24.0	1.0
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	5.7	73.6	1.1	3.8	14.3	1.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	2.4	81.5	0.5	2.4	12.2	1.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	2.5	88.6	0.7	3.9	4.3▲	-
	2,000 万 円 以 上	399	1.3▲	87.2	0.8	6.3	3.0▲	1.5

前問で、最も近いと思う金額を答えた人（「わからない」「無回答」を除く回答者）に、5年後の口座残高を以下のように尋ねた。

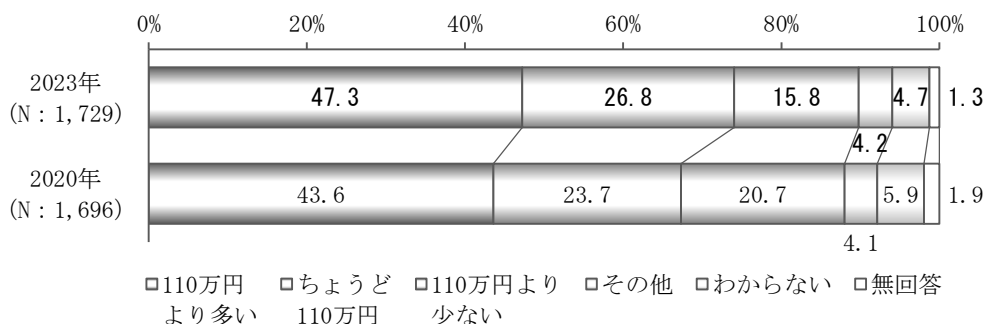
（前問で1～4と答えた方へ）では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

1 110万円より多い
 2 ちょうど110万円
 3 110万円より少ない
 4 その他
 5 わからない

その結果、正答の「110万円より多い」が47.3%と最も多く、次いで、「ちょうど110万円」が26.8%、「110万円より少ない」が15.8%と続いている。

前回と比較すると、正答の「110万円より多い」が3.7ポイント増加している。また、「ちょうど110万円」が3.1ポイント増加、「110万円より少ない」が4.9ポイント減少している。（図表Ⅱ-24）

<図表Ⅱ-24> 利息計算2



性別にみると、正答の「110万円より多い」は女性の40.6%に比べ、男性が53.9%と大きく上回っている。一方、「ちょうど110万円」「110万円より少ない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、「110万円より少ない」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。（図表Ⅱ-25）

<図表Ⅱ-25> 利息計算2〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
性別	男性	863	53.9	24.0▲	12.6▲	5.0	3.4▲	1.2
	女性	866	40.6▲	29.6	18.9	3.5	6.0	1.4
本人年齢別	60～64歳	354	51.4	23.4	19.2	3.1	1.7▲	1.1
	65～69歳	359	48.5	26.7	17.5	3.1	3.3	0.8
	70～74歳	396	48.7	26.5	13.9	4.8	5.6	0.5
	75～79歳	302	44.7	27.5	15.2	4.6	5.6	2.3
	80～84歳	195	41.5	28.7	14.4	6.2	7.2	2.1
	85～89歳	90	46.7	28.9	11.1	3.3	7.8	2.2
	90歳以上	33	30.3▲	42.4	9.1	9.1	9.1	-

本人学歴別にみると、正答の「110万円より多い」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっていく傾向がみられる。(図表Ⅱ-26)

<図表Ⅱ-26> 利息計算2〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
本人学歴別	小中学校	195	33.8▲	28.7	16.9	5.1	12.8	2.6
	高等学校	748	43.3▲	30.9	17.4	2.9▲	4.4	1.1
	短期大学、高等専門学校、専門学校	326	46.6	26.7	16.9	4.6	3.4	1.8
	大学	421	60.1	20.2▲	12.1▲	5.0	2.1▲	0.5
	大学院修士課程	23	60.9	4.3▲	13.0	13.0	8.7	-
	大学院博士課程	2	50.0	50.0	-	-	-	-

本人年収別にみると、正答の「110万円より多い」は、100～1,000万円未満層で高く、100万円未満層で低くなっている。一方、「ちょうど110万円」「わからない」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-27)

<図表Ⅱ-27> 利息計算2〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
本人年収別	収入はない	185	41.6	25.4	18.4	5.9	6.5	2.2
	100万円未満	359	40.1▲	31.5	18.4	2.5	7.0	0.6
	100～500万円未満	926	49.8	26.8	14.1▲	4.2	3.7▲	1.4
	500～1,000万円未満	145	59.3	18.6▲	15.9	4.8	1.4▲	-
	1,000～2,000万円未満	25	48.0	32.0	8.0	8.0	4.0	-
	2,000万円以上	9	55.6	33.3	11.1	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、正答の「110万円より多い」は、2,000万円以上層で60.1%と高くなっている。「ちょうど110万円」は100万円未満層で34.6%と最も高く高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-28)

<図表Ⅱ-28> 利息計算2〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
世帯保有金融資産別	100万円未満	153	41.2	34.6	14.4	3.9	3.9	2.0
	100～500万円未満	223	38.6▲	31.4	17.0	4.9	6.3	1.8
	500～1,000万円未満	178	50.6	29.2	15.2	2.8	1.7▲	0.6
	1,000～2,000万円未満	268	48.1	26.1	17.5	4.5	2.6	1.1
	2,000万円以上	381	60.1	21.3▲	11.8▲	3.9	2.6▲	0.3▲

(3) 金融・保険に関する知識量

保険や金融に関する知識量を捉えるため、以下のように尋ねた。

ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

(1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる …… 以下「定期保険と満期保険金」

(2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも
1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する …… 以下「株式分散投資」

(3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある …… 以下「収益と安全性の関係」

(4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、
男女間で同じである …… 以下「男女別保険料率」

(5) お金を預ける場合、金利が下がり続けている
ときは固定金利の商品が望ましい …… 以下「固定金利か変動金利か（金利低下時）」

(6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる …… 以下「物価と金利」

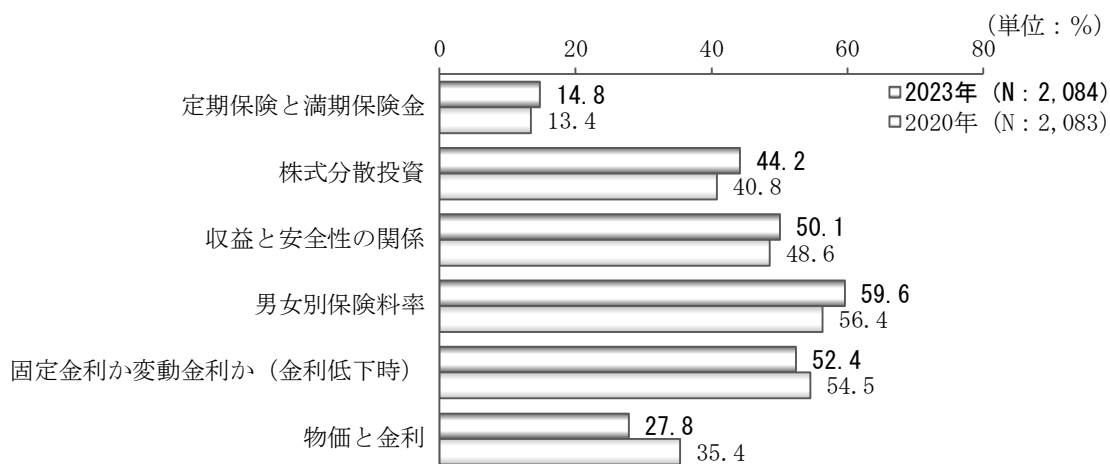
1 正しいと思う 2 間違っていると思う 3 わからない

その結果、保険や金融に関する説明の正答率は、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」59.6%、「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」52.4%、「収益と安全性の関係（収益率が上げれば安全性は低いは<正答>）」50.1%が5割台となっている。次いで、「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」44.2%、「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」27.8%が続いている。

最も低いのは「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」14.8%で、1割台半ばにとどまっている。

前回と比較すると、「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」が3.4ポイント、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」が3.2ポイント、いずれも増加している。一方、「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」が7.6ポイント減少している。（図表Ⅱ-29）

<図表Ⅱ-29> 金融・保険に関する知識量【正答率】



性別にみると、「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」は、特に差がみられないものの、他の4つの正答については、いずれも女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、6つの正答のいずれも低い年齢層ほど高くなっている傾向が顕著にみられる。（図表Ⅱ-30）

<図表 Ⅱ-30> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	満定期 定期 保険 金と	株 式 分 散 投 資	関 係 益 と 安 全 性 の	男 女 別 保 險 料 率	(変 動 定 金 利 金 利 下 か か 時)	物 価 と 金 利
全 体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
性 別	男 性	996	14.7	50.1	58.0	59.7	58.4	34.7
	女 性	1,088	14.9	38.9▲	42.8▲	59.5	47.0▲	21.4▲
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	21.1	57.1	61.3	72.4	58.2	36.1
	65～69歳	400	20.0	51.8	53.0	72.0	55.5	29.3
	70～74歳	463	15.6	46.4	50.8	62.6	53.6	28.1
	75～79歳	369	11.1▲	40.7	48.5	55.6	52.3	25.5
	80～84歳	273	8.8▲	32.2▲	39.9▲	41.8▲	46.9▲	22.3▲
	85～89歳	141	7.1▲	24.8▲	41.1▲	39.0▲	44.7	21.3
	90歳以上	58	1.7▲	17.2▲	31.0▲	25.9▲	31.0▲	17.2

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど6つの正答のいずれも高くなっている傾向がみられる。（図表Ⅱ-31）

<図表 Ⅱ-31> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	満定期 定期 保険 金と	株 式 分 散 投 資	関 係 益 と 安 全 性 の	男 女 別 保 險 料 率	(変 動 定 金 利 金 利 下 か か 時)	物 価 と 金 利
全 体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
本 人 学 歴 別	小 中 学 校	322	8.7▲	18.9▲	27.6▲	37.0▲	31.7▲	16.1▲
	高 等 学 校	904	14.0	40.5▲	45.9▲	60.8	51.1	24.9▲
	短期大学、高等専門 学 校、専 門 学 校	369	15.4	48.2	53.1	66.1	55.8	25.2
	大 学	446	19.7	65.7	70.9	67.7	67.0	42.2
	大 学 院 修 士 課 程	24	20.8	75.0	70.8	79.2	62.5	66.7
	大 学 院 博 士 課 程	2	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-

前述の保険や金融に関する説明の正答率の回答結果（正答数）から、以下のように「金融・保険知識量」を設けた。

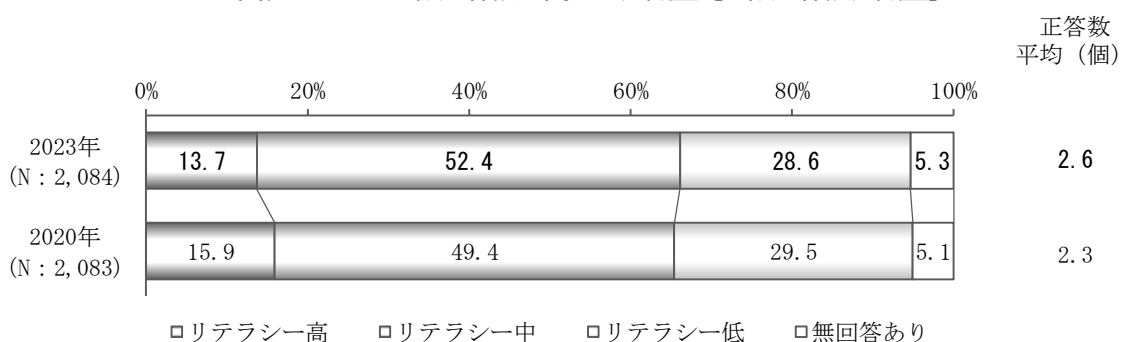
【金融・保険知識量】
 ※保険や金融に関する説明の正答率の回答結果から、正答数ごとに以下の区分を行う

- 1 リテラシー高 …… 正答数が5～6
- 2 リテラシー中 …… 正答数が2～4
- 3 リテラシー低 …… 正答数が0～1
- 4 無回答あり …… 上記に当てはまらない回答

その結果、「リテラシー中」が52.4%と最も多く、次いで「リテラシー低」が28.6%、「リテラシー高」が13.7%となっている。また、正答数の平均は2.6個となっている。

前回と比較すると、「リテラシー高」が2.2ポイント減少している。（図表Ⅱ-34）

<図表Ⅱ-34> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】



性別にみると、「リテラシー高」は男性が女性を大きく上回っている。逆に、「リテラシー低」は女性が男性を大きく上回っている。

年齢別にみると、「リテラシー高」は60～64歳で21.8%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に「リテラシー低」は高い年齢層ほど高く、80～89歳の層で4割台、90歳以上で65.5%を占めている。

その結果、正答数の平均は高い年齢層ほど低くなっている。（図表Ⅱ-35）

<図表Ⅱ-35> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】【性別・年齢別】

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	平均正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
性別	男性	996	18.1	53.6	23.8▲	4.5	2.8
	女性	1,088	9.7▲	51.3	32.9	6.1	2.3▲
本人年齢別	60～64歳	380	21.8	55.5	20.0▲	2.6▲	3.1
	65～69歳	400	16.0	60.3	20.5▲	3.3▲	2.9
	70～74歳	463	13.6	52.3	24.8▲	9.3	2.7
	75～79歳	369	11.1	52.3	30.9	5.7	2.4
	80～84歳	273	8.4▲	46.2▲	41.0	4.4	2.0▲
	85～89歳	141	5.7▲	47.5	41.1	5.7	1.8▲
	90歳以上	58	6.9	20.7▲	65.5	6.9	1.2▲

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど「リテラシー高」は高くなっている傾向がみられ、「リテラシー低」は低くなっている傾向がみられる。

その結果、正答数の平均は、学校教育を受ける期間が長いほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-36)

<図表Ⅱ-36> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
本人学歴別	小中学校	322	4.0▲	35.1▲	56.5	4.3	1.4▲
	高等学校	904	11.2▲	52.5	29.1	7.2	2.4▲
	短期大学、高等専門学校	369	10.8	60.4	23.8▲	4.9	2.7
	大学	446	26.9	58.7	12.1▲	2.2▲	3.4
	大学院修士課程	24	41.7	45.8	12.5	-	3.8
	大学院博士課程	2	-	50.0	50.0	-	2.5

本人年収別にみると、「リテラシー高」は、収入はない、100万円未満層で低く、500～1,000万円未満層で高くなっている。一方、「リテラシー低」は、100～1,000万円未満層で低く、収入はない、100万円未満層で高くなっている。

その結果、正答数の平均は、高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-37)

<図表Ⅱ-37> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
本人年収別	収入はない	261	6.1▲	47.5	37.9	8.4	2.1▲
	100万円未満	458	10.9▲	48.0▲	37.1	3.9	2.2▲
	100～500万円未満	1,067	14.9	56.2	23.9▲	5.0	2.7
	500～1,000万円未満	155	26.5	56.8	13.5▲	3.2	3.3
	1,000～2,000万円未満	28	25.0	53.6	17.9	3.6	3.3
	2,000万円以上	9	22.2	44.4	33.3	-	2.6

世帯保有金融資産別にみると、「リテラシー高」は高資産層ほど高くなっている。一方、「リテラシー低」は低資産層ほど高くなっている。「リテラシー中」は、500万円以上の層で6割前後と高くなっている。

その結果、正答数の平均は、高資産層ほど高くなっており、2,000万円以上では3.5個となっている。(図表Ⅱ-38)

<図表Ⅱ-38> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数 (平均)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	8.8▲	50.5	35.8○	4.9	2.2▲
	100～500万円未満	265	11.7	54.0	30.2	4.2	2.4
	500～1,000万円未満	205	13.2	62.4○	21.0▲	3.4	2.7
	1,000～2,000万円未満	280	18.6○	59.6○	15.4▲	6.4	3.1○
	2,000万円以上	399	27.3○	59.9○	10.5▲	2.3▲	3.5○

4. 特殊詐欺被害を防ぐための行動

特殊詐欺の被害を防ぐための行動を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは現在、振り込み詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

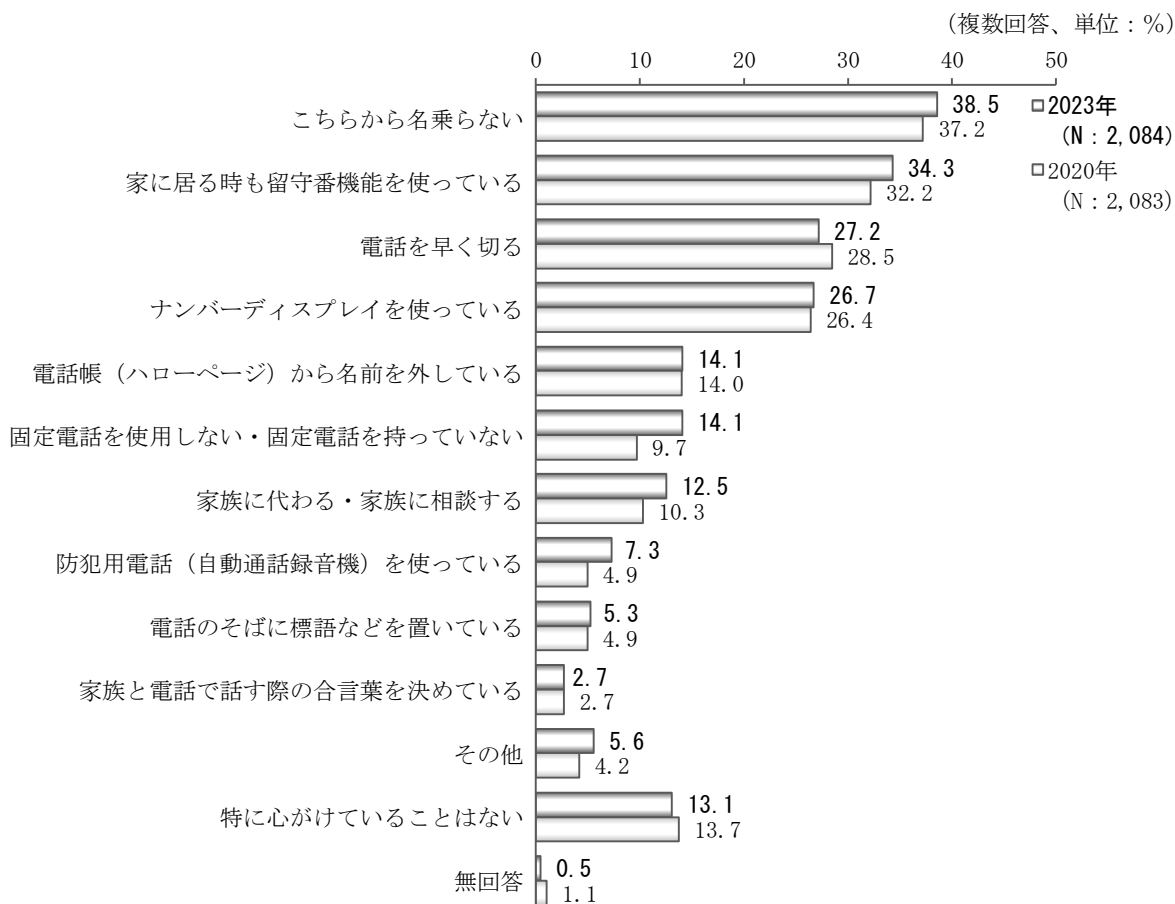
- 1 電話のそばに標語などを置いている
- 2 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
- 3 電話帳（ハローページ）から名前を外している
- 4 ナンバーディスプレイを使っている
- 5 家に居る時も留守番機能を使っている
- 6 防犯用電話（自動通話録音機）を使っている
- 7 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
- 8 こちらから名乗らない
- 9 電話を早く切る
- 10 家族に代わる・家族に相談する
- 11 その他
- 12 特に心がけていることはない

その結果、「こちらから名乗らない」が38.5%と最も多く、次いで、「家に居る時も留守番機能を使っている」(34.3%)、「電話を早く切る」(27.2%)、「ナンバーディスプレイを使っている」(26.7%)までが、2～3割台で続いている。

一方、「特に心がけていることはない」は13.1%となっている。

前回と比較すると、「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」が4.4ポイント、「家族に代わる・家族に相談する」が2.2ポイント、「防犯用電話（自動通話録音機）を使っている」が2.4ポイント、いずれも増加している。(図表Ⅱ-39)

<図表Ⅱ-39> 特殊詐欺被害を防ぐための行動



性別にみると、「特に心がけていることはない」は、女性よりも男性で高くなっている。具体的な行動では「こちらから名乗らない」「家に居る時も留守番機能を使っている」「家族に代わる・家族に相談する」は、女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「電話を早く切る」は75～79歳で高くなっている。「ナンバーディスプレイを使っている」「電話帳（ハローページ）から名前を外している」「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」は、65～69歳で高くなっている。「家族に代わる・家族に相談する」は高い年齢層ほど高くなっており85歳以上層で2割台となっている。「特に心がけていることはない」は、60～64歳で高くなっている。（図表Ⅱ-40）

<図表 Ⅱ-40> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔性別・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	こちらから名乗らない	家に居る時も留守番機能を使っている	電話を早く切る	ナンバーディスプレイを使っている	電話帳（ハローページ）から名前を外している	固定電話を使用しない	家族に代わる・家族に相談する
全体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5
性別	男性	996	33.1▲	32.0▲	25.9	26.7	14.0	13.8	8.4▲
	女性	1,088	43.5	36.3	28.3	26.7	14.2	14.3	16.3
本人年齢別	60～64歳	380	40.5	31.6	20.8▲	28.7	16.3	15.5	7.9▲
	65～69歳	400	39.3	37.0	25.3	32.5	19.8	20.5	8.0▲
	70～74歳	463	41.3	36.5	26.6	29.6	16.0	16.0	12.3
	75～79歳	369	36.0	33.1	32.2	26.8	9.8▲	8.7▲	13.6
	80～84歳	273	37.7	37.0	29.7	17.9▲	9.2▲	9.5▲	16.5
	85～89歳	141	33.3	29.8	30.5	14.9▲	9.2	10.6	21.3
	90歳以上	58	31.0	20.7▲	34.5	20.7	6.9	8.6	29.3
		N	通話録音機（自動）	防犯用電話（自動）	家族の合言葉を決める	その他	特に心がけている	無回答	
全体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5	
性別	男性	996	7.0	4.3	2.5	5.6	18.0	0.5	
	女性	1,088	7.5	6.2	2.9	5.5	8.6▲	0.5	
本人年齢別	60～64歳	380	4.5▲	2.9▲	2.4	4.7	16.3	1.3	
	65～69歳	400	6.0	1.8▲	1.8	5.3	13.8	0.3	
	70～74歳	463	6.5	6.7	3.5	5.6	10.6	-	
	75～79歳	369	7.6	5.4	3.5	6.0	14.4	0.5	
	80～84歳	273	10.3	9.9	2.6	6.2	9.2▲	0.7	
	85～89歳	141	11.3	5.7	1.4	5.7	17.0	-	
	90歳以上	58	15.5	10.3	5.2	6.9	8.6	-	

本人学歴別にみると、「こちらから名乗らない」「ナンバーディスプレイを使っている」は、短期大学、高等専門学校、専門学校で高くなっている。「電話帳（ハローページ）から名前を外している」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっているが、「家族に代わる・家族に相談する」は学校教育を受ける期間が長いほど低くなっている。（図表Ⅱ-41）

<図表Ⅱ-41> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔本人学歴別〕

		(複数回答、単位：%)							
		N	な こ ち ら か ら 名 乗 ら ない	番 機 に 居 る 時 も 留 い 守 る	電 話 を 早 く 切 る	レ ナ ン バ ー デ ィ ス プ レ イ を 使 っ て い ス る	を 外 し て い る 電 話 帳 （ ハ ロ ー ペ ー ジ ） か ら 名 前	持 つ て い な い 固 定 電 話 を 使 用 し ない	家 族 に 代 わ る ・ 家 族 に 相 談 す る
全 体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5
本人学歴別	小 中 学 校	322	31.4▲	28.9▲	31.4	16.5▲	11.2	14.9	18.0
	高 等 学 校	904	37.3	34.1	26.0	27.3	12.3▲	14.8	13.4
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	44.2	37.1	27.1	32.8	16.3	12.7	12.7
	大 学	446	41.3	36.5	26.5	28.3	17.7	13.5	7.4▲
	大 学 院 修 士 課 程	24	37.5	29.2	20.8	25.0	20.8	4.2	-
	大 学 院 博 士 課 程	2	100.0	50.0	-	100.0	-	-	-
		N	使 通 防 つ 話 犯 用 録 音 機 を 自 動 に 使 う	な 電 話 を の 置 き ば い に 標 る 語	て 際 の 合 言 葉 を 決 め ず	そ の 他	こ 特 に は 心 な が い て い る	無 回 答	
全 体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5	
本人学歴別	小 中 学 校	322	5.9	5.3	2.5	5.0	16.5	0.6	
	高 等 学 校	904	7.0	6.2	2.8	6.1	11.2▲	0.6	
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	6.8	5.1	3.0	4.9	11.1	-	
	大 学	446	9.0	3.4▲	2.7	5.8	15.9	0.7	
	大 学 院 修 士 課 程	24	8.3	8.3	4.2	-	20.8	-	
	大 学 院 博 士 課 程	2	50.0	-	-	-	-	-	

金融・保険知識量別にみると、「こちらから名乗らない」「電話帳（ハローページ）から名前を外している」はリテラシー高の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。「家に居る時も留守番機能を使っている」「ナンバーディスプレイを使っている」「防犯用電話（自動通話録音機）を使っている」は、リテラシー中の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。「家族に代わる・家族に相談する」は、リテラシー低の層で高く、リテラシー高の層で低くなっている。（図表Ⅱ-42）

<図表Ⅱ-42> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔金融・保険知識量別〕

（複数回答、単位：％）

		N	な こ ち ら か ら 名 乗 ら ない	る 番 機 に 居 る 時 も 留 守 番 機 能 を 使 っ て い る	電 話 を 早 く 切 る	レ ナ ン バ ー デ ィ ス プ レ イ を 使 っ て い る	を ベ ー ジ ン グ ル ー プ の 外 に お き て い る	持 つ て い な い	固 定 電 話 機 を 使 っ て い る	家 族 に 代 わ る ・ 家 族 に 相 談 す る
全 体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5	
金融・ 保険 知識 量 別	リテラシー高	286	44.1	36.0	25.9	28.7	19.2	9.8▲	7.7▲	
	リテラシー中	1,092	39.8	36.5	26.0	30.0	15.1	14.0	11.4	
	リテラシー低	595	32.3▲	28.9▲	28.7	20.7▲	10.1▲	15.5	16.8	
		N	使 つ て い る 音 機 （ 自 動 録 音 機 ）	な ど の 電 話 を 置 き こ え 機 を 使 っ て い る	て 際 に 家 族 と 合 言 葉 を 決 め す	そ の 他	こ と は 心 が い け て い る	無 回 答		
全 体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5		
金融・ 保険 知識 量 別	リテラシー高	286	8.0	3.8	2.8	8.0	12.2	0.7		
	リテラシー中	1,092	8.5	5.5	2.7	4.9	12.9	0.5		
	リテラシー低	595	4.9▲	5.5	2.5	6.1	14.8	0.3		